

## 防災まち歩きや意見交換を通して…

- 道路の複雑さ、行き止まりなど、避難の支障となる道が多いので、災害別の適切な避難場所と避難路を考える。
- ⇒ 水害実績や土地の高低差を加味して、特に高齢者やすぐ避難することが難しい方にも考慮した避難路の啓発などを行う。
- 応急玉川小学校を避難場所として有効に使えるよう、防災倉庫などの資源の場所や活動方法を確認し、各々が適切な避難が行えるよう啓発する。

### 各種防災マップを確認しましょう

事前の情報収集と備えが、あなたとあなたの大切な方の命を守る大切なステップです。防災マップを確認して、普段からの備えを強化しましょう。



川崎市  
防災マップ

### 自宅の安全性を高めましょう

地震の備えといえば、水や食料、防災グッズの確保に関心が向きがちですが、それらが役に立つのは「身の安全」が確保された上でのことです。次の大地震が来る前に備えましょう。

**木造住宅の耐震化** 昭和56年5月31日以前に建てられた住宅は、古い耐震基準で建てられていることから特に地震に弱いとされています。川崎市では、旧耐震基準で建てられた木造住宅の方に**無料で耐震診断士**を派遣しています。調査は2～3時間程度と短時間です。また、耐震改修工事の費用の一部を**補助**しています。

詳細は川崎市役所防災まちづくり推進課まで（TEL：044-200-3017）



木造住宅耐震診断士  
派遣制度

今回のまち歩きやアンケートの結果から、地域の災害情報をもっと多くの方に届くよう発信し、防災意識の啓発をしていくことが必要であると感じました。また、今後も上平間第一町内会を、皆さんと一緒に協力し合いながら、防災に強い町会にしていきたいと思ひます。

上平間第一町内会会長 田口ひろ子



## みんなで話そう防災のこと、このまちのこと！

### まちづくり交流会を開催します！

地域の防災についてのこと、気になっていること、こんなイベントがあったらいいな…などテーマを設けてみんなで話しませんか？

日時：2月18日 13:00～15:00  
場所：上平間第一町内会会館



上平間第一町内会  
防災まちづくりNEWS Vol. 2  
令和6年1月発行

## アンケート調査と防災まち歩きを実施しました！

上平間第一町内会では、今年度から川崎市の支援を受けて防災まちづくりの取組を進めています。今回はその取組の中で実施した防災アンケートやまち歩きの結果をご紹介します。



## 地域防災活動のためのアンケート調査のご報告

アンケート調査について2,000世帯を対象に実施しました。配布や回答などご協力いただいた皆様、ありがとうございました。ここでは、アンケートの結果を一部抜粋してご紹介します。

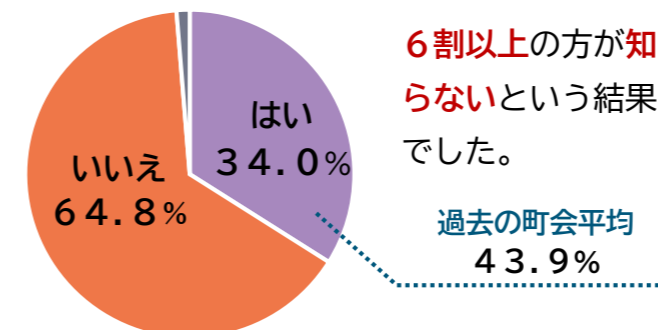
実施期間：2023年10月1日～10月31日

回収数：159件(Web:59件/郵送:100件)

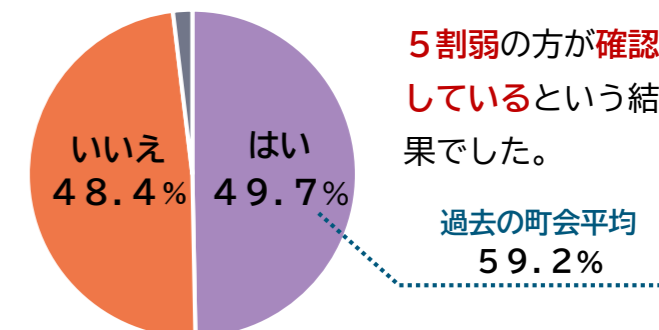
配布数：2,000件

回答数：8.0%

上平間第一町内会は大地震が起きたとき、大規模な火災延焼の恐れを知っていますか。

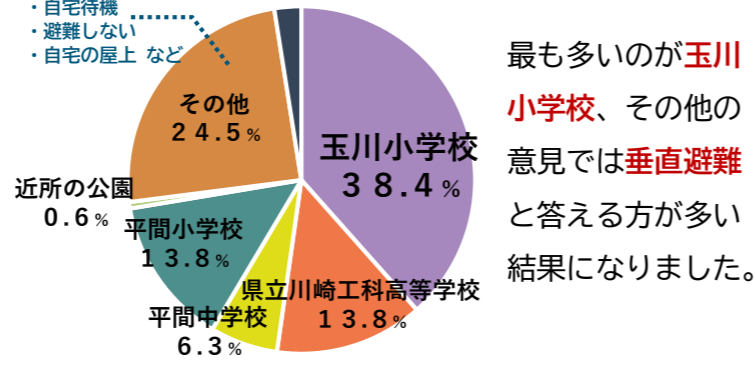
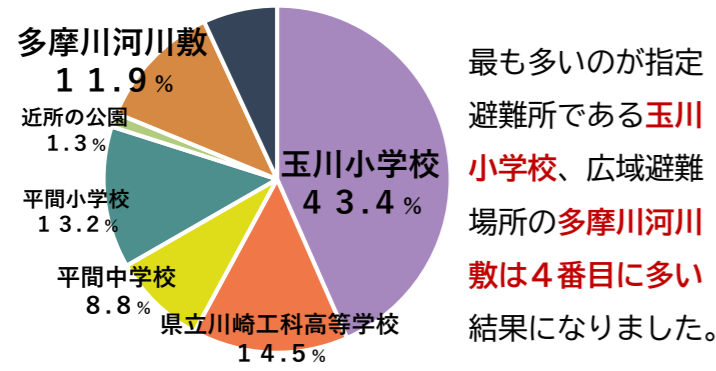


上平間第一町内会でおきる災害について、ハザードマップや防災マップで確認していますか。



大地震が起きて火災が発生し、地域一帯が延焼する危険性のあるとき、どこに避難しますか

大きな台風が来て浸水の危険性があるとき、どこに避難しますか



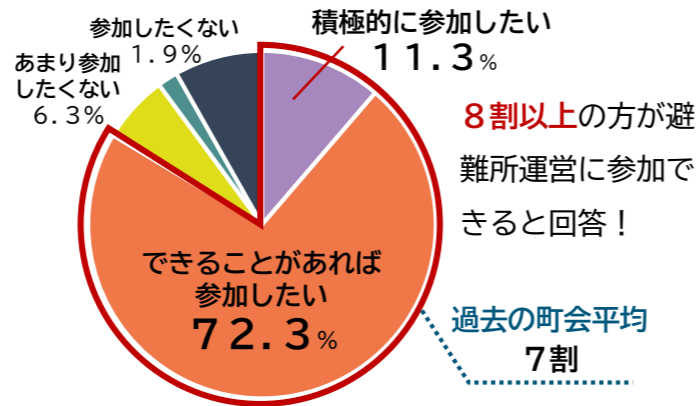
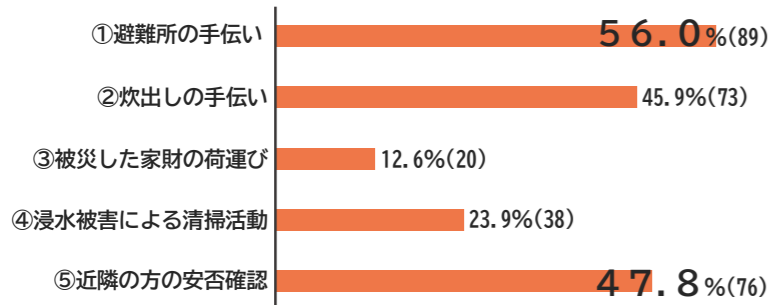
### 災害別の避難について

上の2つの設問では災害別の避難先を調査しました。どの災害においても状況によって、臨機応変に避難先や避難ルートを変える必要があります。普段から自宅周辺の地域資源についてしっかり確認しておきましょう！



災害時、地域の防災活動で参加できるものがありますか（いくつでもお選びください）。

あなたが避難所に避難したとき、避難所の運営に参加できますか。



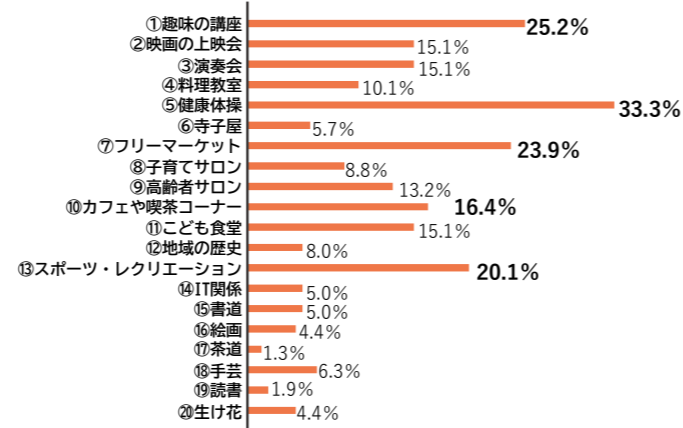
### 災害時の助け合いについて

上の2つの設問では共助について調査しました。避難所運営のお手伝いに関しては、8割以上の方が参加できると回答いただき、過去のアンケート平均を上回る結果となりました。地域全体として防災意識が高く、今後は手伝いやすい環境や体制づくりに力を入れていく必要があります。



地域で参加したいイベント、ご自身が興味のあるものはありますか(いくつでも)

- 1位：健康体操
  - 2位：趣味の講座
  - 3位：フリーマーケット
  - 4位：スポーツ・レクリエーション
  - 5位：カフェや喫茶コーナー
- 今回いただいた意見を参考に、楽しく参加できるようなイベントを開催していきます！ぜひご参加ください！



### 防災まち歩きで地域の課題や資源を確認しました！

12月3日に防災まち歩きを行いました。普段何気なく歩いている地域も、防災の目線で見ると、意外と多くの発見があります。

防災倉庫があること自体知らなかった、中身が気になる。避難所の受け入れ人数的にも各々が適切な避難を考えるべき。

3mの浸水が想定されているなんて知らなかった。行き止まりの道を把握することが大切。

東日本台風の際、冠水していた。安全な避難経路としては選ばない方が良さそう。

道が複雑な道や行き止まりの道を把握して、自分がどの道を通れば安全なのか、避難経路を考えたい。

家屋の倒壊や、密集した建物による火災延焼が不安。  
複雑な道など、夜間になれば余計に道が見えなくなり、要援護者の方や高齢者の方は避難経路の作成や対策が必要。

【全体の意見】  
・長く住んでいるが、初めて知ることが多かった。東日本台風の被害があったなんて知らなかった。  
・避難について考える良いきっかけになった。『安否確認訓練』の様な取組を実施して災害に備えても良いだろう。  
・町内会で消火ホースキットの訓練もやってみたい。

● 消火栓 ● 防火水槽 ● 行き止まり ● 避難場所  
道路 ● 4m未満道路 ● 駐車場 ● 公園・緑道  
木造建物 ● マンション等